

## 仙人通信 150 刈寄山(687m)

刈寄山は、東京・五日市の南西に位置し戸倉3山の1山で3等三角点の山である。五日市から奥多摩へ通ずる都道33号線の子生神社のあるY字路を沢戸橋に向かい、直ぐの有料駐車場に車を止め、刈寄川に沿った林道を進み、更に採石場の手前から登山道に入り、刈寄山をつめた後、今熊山と金剛の滝を經由するコースとした。駐車場から旧沢戸橋を渡り、戸倉方面に向かう道路を横切り、刈寄川に沿って進む。日陰にある林道は、白く凍りつきツルツルと滑る。10分程で今熊山の登山口である小さな橋が架った地点だ。そこには、刈寄山を示す指状の標識が林道の方向を示している。進むこと20分程で右手にふれあいの森の事務所が、更に15分程で採石場入口の登山道標識のあるポイントだ。沢に沿って杉林の中の登山道を渡渉しながら進む。沢床の石は、砂岩質の岩だ。ここの地層は、小仏層と呼ばれ小菅と大月を結ぶ松姫峠を基点に、三頭山の南側から秋川に沿っての構造線・大月からほぼ相模川沿いを下り、更に圏央道にて区切られた区域の地層である。30分程で沢から離れ九十九折の檜林となる。15分程で尾根筋となり、水檜等の落葉樹林となる。堆く積もった落葉を足元確保のため取り除きながら登る。今熊山からのコースと合流し10分程で山頂に立てた。山頂の東側のみ、梢越しに視界が開け五日市の先に青梅が、その先に霞んではいるが、白い男体山等の日光の山並みだ・仙人が岳は・・・登って来た道を今熊山に向う。尾根の左手は檜林・右手は落葉樹林で、戸倉3山の臼杵山・市道山が確認出来た。尾根道では、ヒサカキ・ナニワズヤアオキそしてコウヤボウキの穂が目につく。小さなピークを越え10分程で林道と市道山への分岐が、更に5分程で市道と陣馬山への分岐である。右手の斜面の檜の枝や幹が上部から切り取られ、枯死状態で寂しい。25分程で伊豆嵐山に着く。コースが東向きに変わり桜や水檜の梢越しに相模川・橋本・相模原公園の塔まで望めるも、その先の座間キャンプや我が家は、霧の中で残念だ。一方眼下の美山町の入山尾根は採石の為に轟音を立て削り取られ複雑な気持ちになる。左手の檜林の切れ間から御前山・大岳山だ。50分程歩いた地点で左上に神社の祀られた今熊山である。多摩地区では、今熊山を『呼ばこう』と言い、大声で願い事を叫ぶと叶うとも言われている。神社の横からは、八王子市街や調布のドームまでが確認できた。神社の右手から金剛の滝へのコースを採る。25分程で滝の上部に繋がる入口であるが、崩壊を理由に閉鎖されており、更に15分程下がって逆川へ出て、5分程上流にある滝へ向かう。朽ちた梯子状の橋の先の洞窟を抜けると10m近くある見事な金剛の滝である。水飛沫の性であろうか沢沿いの木々の枝には、サルオカゼが見事だ。逆川沿いに下り、登り時に見た橋に30分程で到着した。駐車場まで丁度5時間(25000歩)、のんびりした山旅が出来ました。(h28. 12. 20)

刈寄山山頂



金剛の滝



サルオカゼ

